

Tracks and Track Groups



Pyramix 6.0

DIGITAL AUDIO WORKSTATION



Virtual Transport
NETWORKED SYNCHRONIZATION SYSTEM

トラック

各プロジェクトには、クリップを置いたりオーディオ入力を録音したりするためのトラックがあります。クリップを置いたり録音を終了したりすると、直ちにクリップを表すブロックがトラック上に現れます。トラック自体は、タイムスケール・バーの下に水平に広がり、複数のトラックは垂直に積み重ねられます。

各トラックの左側には、トラックに関する様々な情報表示とコントロールを行うヘッダー・パネルがあります。詳細は、**Track Header**パネルの章をご参照ください。

いくつかのオペレーションは、選択したトラックにのみ適用されます。トラックを選択するには、**トラック・ヘッダー**部分をクリックします。その際、トラックの機能に関するボタンを押して変更してしまう恐れがあるので、**トラック・ネーム**の箇所をクリックすることをお勧めします。

トラックの追加

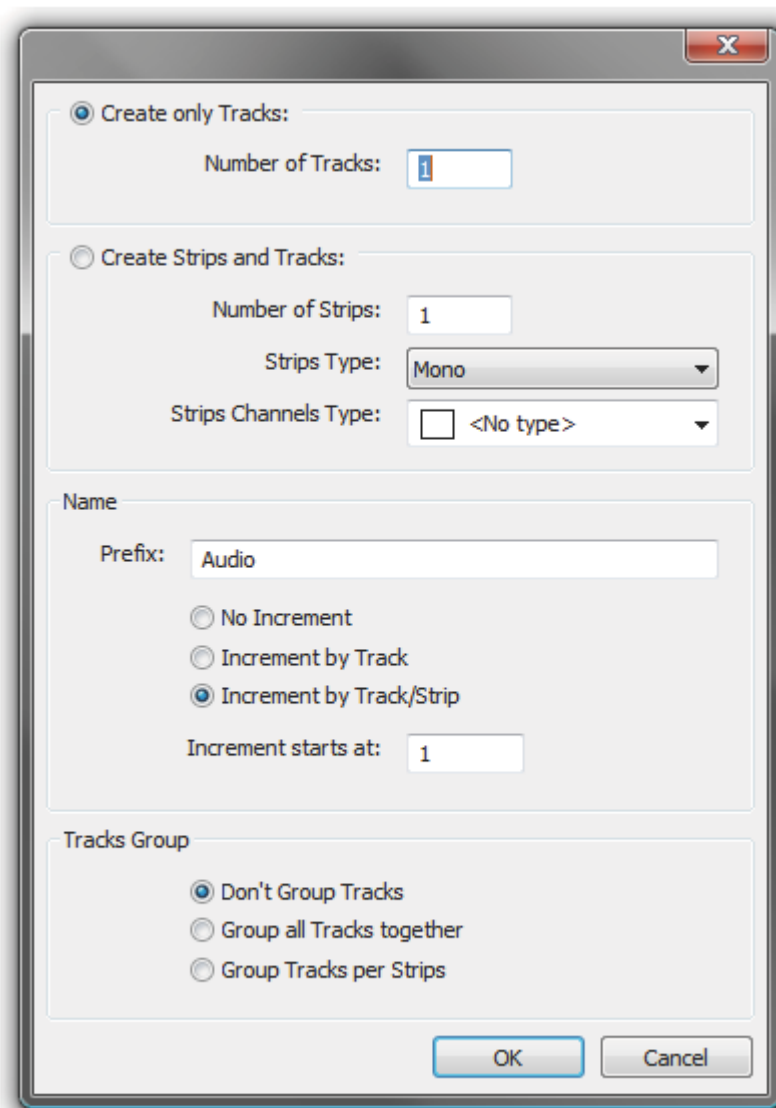
デフォルトで、新しいプロジェクトはミキサー構成で定義した入力チャンネルと同数のトラックを作成して開きます。プロジェクトを作成した後も、トラックの追加と削除は手軽に行えます。

ペーストによるトラック作成

Media Managementまたはライブラリーから、トラックの存在していないタイムラインの空白エリアへクリップをコピー&ペーストあるいはドラッグ&ドロップすると、既存トラックの下に自動的にトラックを追加します。

新しいトラックの作成

新しいトラックは、任意のトラックを選択している場合はその下に挿入され、何も選択していない場合は最後トラックの下に追加されます。**タイムラインヘトラック**を追加するには、**Tracks > New Audio Track**を選択します。または、トラック・ヘッダー下の空白エリアで右クリックし、**New Audio Track**を選択します。



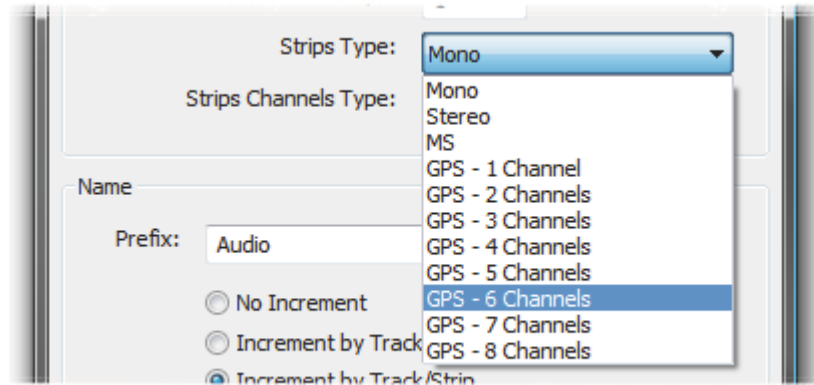
Create New Tracks dialog

トラックのみの作成／トラック&ストリップの作成:

シンプルにMonoトラックだけ作成するには、**Create only Tracks**のラジオボタンをチェックし、**Number of Tracks**のボックスに必要なトラック数を入力して**OK**ボタンをクリックします。この時、デフォルト名の**Audio**と昇順の1が付番されて**Audio 1**とトラック・ネームが付いてトラックが作成されます。

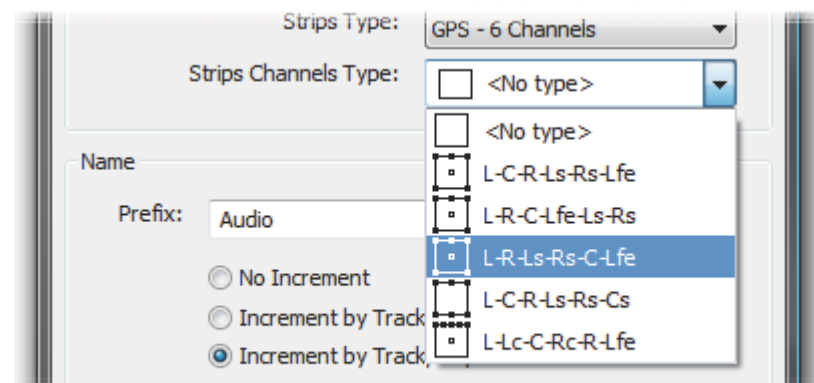
もし、ミキサー・ストリップを同時に作成したい場合は**Create Strips and Tracks**のラジオボタンをチェックします。**Number of Tracks**のボックスに必要なトラック数を入力して、ストリップの種類を選択します。(次ページ参照) Pyramixは現在4種類のストリップに対応しています。デフォルトは**Mono**です。

ストリップの種類は、ドロップダウン・リストから選択することができます。



Create New Tracks dialog - Strips Type

Mono以外を選択した場合、選択したストリップの種類に合わせて適切な数のトラックが作成されます。ストリップの入出力は、**Strips Channels Type**のドロップダウン・リストで選択されたチャンネルの割り当てに合わせてタグ付けされます。



Create New Tracks dialog - Strips Channels Type

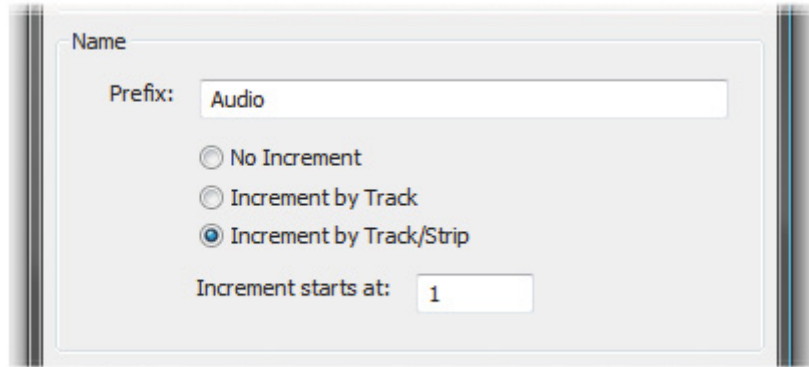
6チャンネルの例は上図の通りです。

MSの<No Type>を選択した場合、ストリップI/Oは**C** (Centre) および**W** (Width)とタグ付けされます。

トラックの種類

すべてのトラックはシングル・チャンネルです。ただし、作成したストリップ・チャンネルの種類によって、自動的に名前、オートメーション、ソロ、ミュート、モニター・モード、Recordオード、波形表示がリンクします。

トラックの名前と番号



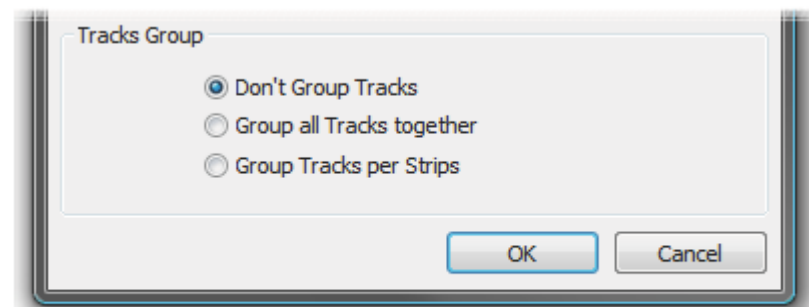
Create New Tracks dialog - Name

多くのトラック&ストリップを作成する場合、自動的に名前付けと付番(昇順)が行えます。

- **No Increment** すべてのトラックは、同じ名前が付いた状態で作成されます。すなわち、**Prefix:**のテキストボックスに入力した名前のみ(番号なし)が付きます。
- **Increment by Track** トラックには、**Prefix:**のテキストボックスに入力した名前と、番号が付きます。例えば、**Atom**と入力して5.1chのGPストリップをL-C-R-Ls-Rs-Lfeフォーマットで作成すると、6つのトラックが追加されます。この時、**Increment starts at:**のボックスに**33**と設定した場合、トラック名は**Atom33**、**Atom34~38**と自動的に名前が付きます。ストリップには、**Prefix:**で入力した名前が付きます。
- **Increment by Track/Strip** トラック/ストリップには、すべて**Atom33**と名前が付きます。

Trackグループ

Trackグループには、以下の3つのオプションがあります：



Create New Tracks dialog - Grouping

Don't Group Tracksは、新規トラックに関してTrackグループを作成しません。

Group all Tracks togetherは、新規トラックをすべて1つのTrackグループにします。

Group Tracks per Stripsは、新規トラックをストリップ別に分けてTrackグループにします。例えば、5.1chのGPストリップ2本作成した場合、6トラック毎に2つのTrackグループを作成します。

トラックの削除

シングル・トラック

トラックを削除するには、はじめに削除したいトラックを選択します。次に、**Tracks > Delete**メニューを選択します。トラックとトラック上に置かれていたすべてのクリップは削除されます。この時に削除されるのはクリップのみで、オリジナルのMediaファイルが削除されるわけではありません。

マルチプル・トラック

Tracks > Delete to Lastメニューを選択すると、選択したトラック以降のあるすべてのトラックを一度に削除することができます。

トラックの追加と削除に関するメニューは、トラック・ヘッダー部分の右クリック・メニューからも利用できます。

トラック/ミキサー間のルーティング

ミキサーを作成すると、Pyramixはミキサーの入カストリップ数と同じ数のトラックを自動的に作成します。

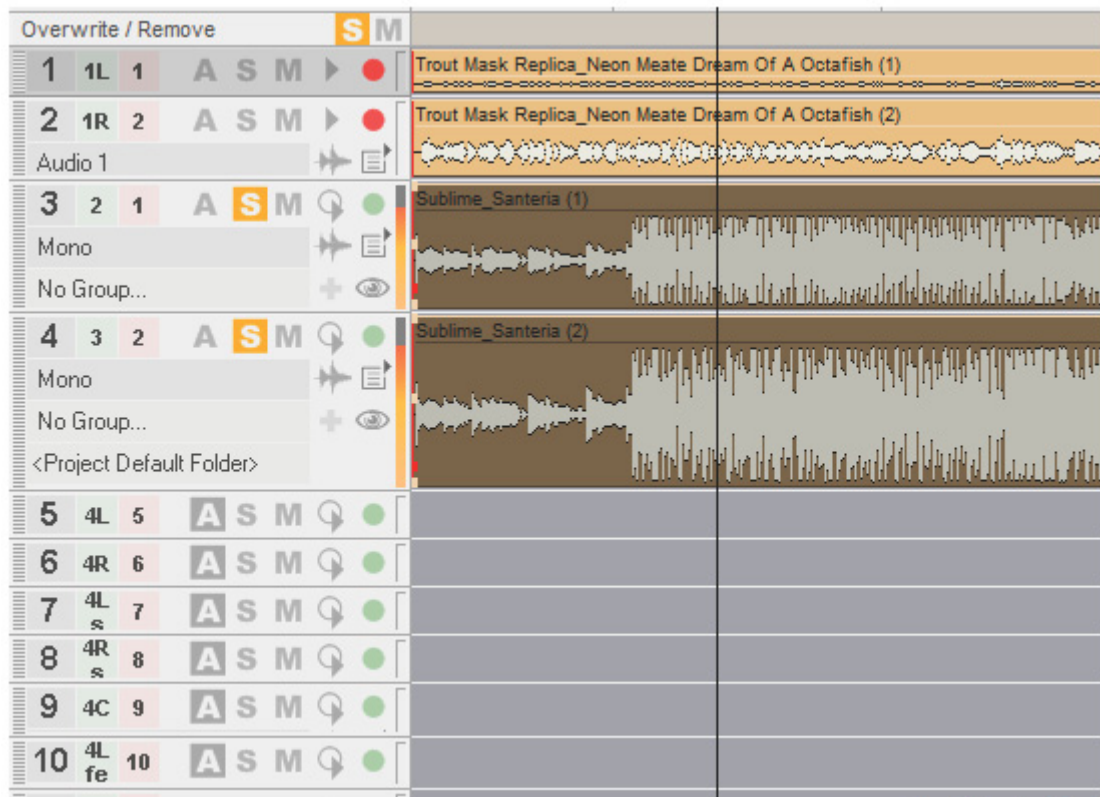
ミキサーを作成する際に“**Connect automatically as many inputs and outputs as possible**”にチェックを入れると、Pyramixは各トラックの出力と、対応するミキサーのチャンネル入力を自動的にルートします。(トラック1の出力をミキサー・チャンネル1の入力、トラック2をミキサー・チャンネル2の入力へルートするなど)

同時に、Pyramixは各ミキサー・チャンネルの出力と、対応するトラックの入力を自動的にルートします。(ミキサー・チャンネル1の出力をトラック1の入力、ミキサー・チャンネル2をトラック2の入力へルートするなど)

これらトラック入出力のアサインは、ユーザーによって簡単に変更することができます。詳しくは、9.Mixerセクションの章で“ストリップの追加”のページを参照してください。

トラック・ヘッダー・パネル

トラック・ヘッダー・パネルには様々なコントロール・ボタンと情報が表示されています。



Track Header Panel

このスクリーン・ショットは、トラック・ヘッダーの様々な状態を示しています。

トラック・ヘッダー毎にある薄緑色と薄赤色のボックスは、各トラックへの入出力アサインの状態を示しています。薄緑色のボックスは、トラックの出力をミキサーのどのチャンネルへアサインしているかを示します。薄赤色のボックスは、トラックへのフィジカル入力またはミキサー・チャンネルの内部リターン・バスのアサインを示します。

トラック入力または出力のアサインを変更するには、各ボックスをクリックしてポップアップ・メニューの中から任意のミキサー・チャンネルを選択してください。












Note: トラック出力のアサインを別のミキサー・チャンネルへ変更すると、選択しているトラックの入力ソースのアサインも変更したミキサー・チャンネルの入力ソースへ変更されます。トラック・ヘッダー内で入力ソースのアサインを変更すると、ストリップ上のフィジカル入力も連動して変更されます。その逆の操作でも同様です。

トラックの入出力が何もアサインされていない場合、各ボックスにはアサイン・ナンバーの代わりに“—”が表示されます。

ミキサー・チャンネルへは複数のトラックを重複させてアサインすることが可能です。この場合、信号はミキサーへ入る前にサブMixされます。これにより、ミキサー・チャンネルよりも多くのトラック数を再生することができます。




また、同じフィジカル入力を複数のトラックへ供給することもできます。

トラック・ヘッダーのコンポーネント

		一番左に表示される大きな太字の数字はトラック・ナンバーです。バーチャル・トラックを含むすべてのトラックは昇順に付番されます。
		薄緑色のボックスは、ミキサーのストリップ・チャンネルへの出力アサインを示します。このアイコンをクリックするとポップアップ・リストの中から任意のミキサー・ストリップ・チャンネルを選択できます。アサイン・ナンバーが示されていない場合は、ミキサーへのアサインが選択されていないことになるので、そのトラックでは録音／再生ができません。
		薄緑色のボックス内の表示が2行の場合は、マルチプルチャンネルのミキサー・ストリップへアサインされています。テキストは、トラックがどのチャンネルにアサインされているかを示します。(例: 8 Lfe)
	Input Source	薄赤色のボックスは、入力ソースのアサインを示します。アサイン・ナンバーが示されていない場合は、入力ソースが選択されていません。入力アサインは、ミキサー画面からも直接設定することができます。
	トラック・ネーム	トラック・ネームのエリアをクリックすると、トラック・ネームを入力できるテキスト・ボックスが開きます。トラック・ネームのデフォルトは、Mono, StereoまたはAudioです。
	オートメーション表示 /Off	トラックのオートメーション情報は表示されません。
	オートメーション表示 /On	トラックのオートメーション情報を表示します。 オートメーション・アイコンのエリアで右クリックすると、関連するオプション・メニューが表示されます。
	Mute Off/On	Muteアイコンをクリックすることで、トラック出力のMute／Mute解除を交互に操作できます。
		トラック出力をMuteしています。
	Solo Off/On	Soloアイコンをクリックすることで、トラック出力のSolo／Solo解除を交互に操作できます。
		トラックがSoloの状態です。

Recordアイコンは、以下の3つの状態で示されます。

Recordアイコンをクリックすることで、Record Safe／Record Readyが交互に切り替わります。
ALTキーを押しながらクリックすると、Record Safe／Auto Punch Readyが交互に切り替わります。






	Record Safe	録音が不可能な状態です。
	Record Ready	トランスポートのMaster Recordボタンを押すと録音が始まり、StopボタンまたはPlayボタンを押すと録音を終了します。
	Auto-punch Ready	Master Recordボタンを押すと、設定されているRecord Inポイントに達すると録音が始まり、Record Outポイントに達すると録音を終わります。

Recordアイコンを右クリックするとAll Settings画面が開き、Project > Recordの設定ページが開きます。

Monitorアイコンも以下の3つの状態で示されます。

Note: 入力と出力の両方がアサインされている場合のみ、その状態を示します。

以下の3つのMonitorアイコンはクリックすることで交互に切り替わります。

	Auto	再生中は Repro 、Stop状態で 入力ソース を切り替えてモニターします。 Stop状態での動作は、 Settings > All Settings > Application > Playback/Record ページの“ Auto-monitoring ”設定と連動します。 <ul style="list-style-type: none"> ● European Monitoring (All tracks turn to INPUT on stop) ● US Monitoring (Only Record Ready tracks turn to INPUT on stop)
	Repro	トラックの Repro を常時モニターします。
	Input	トラックの 入力ソース を常時モニターします。
	Expand Track Group	トラックがグループに属している場合、グループ毎にトラックの全表示／折り畳んでコンパクトに表示と切り替えられます。 暗い灰色の時は、トラック・グループに属していません。
	Collapse Track Group	

Waveformアイコンは、以下の3つの状態で示されます。

	Display Waveform	デフォルトで、クリップはオレンジ色のブロックと白い波形で表示されます。
	Display Blocks	デフォルトで、クリップはオレンジ色のブロック(波形なし)で表示されます。
	Display Envelope	デフォルトで、クリップはオレンジ色のブロックと白い波形と黒いエンベロープ線で表示されます。 エンベロープは、マウスでドラッグすることで調整できます。 Ctrl キーを押しながらマウスをドラッグすると、描画ツールとして機能します。 これらの結果は、 オートメーション に反映されます。
	Peak Meter	トラック・ヘッダーの右端をクリックすると、 Peakメーター が表示されます。 Peakメーター部分をクリック毎に、表示／非表示が切り替わります。
	Always Visible /Off	このボタンをOnにすると、タイムライン表示を上下にスクロール移動をしても、トラック表示が保持されます。
	Always Visible /On	
	Playlist	以下のメニューが開きます。  <p style="text-align: right;">Playlist popup menu</p>

詳細は、7.Playlistの章をご参照ください。

トラックのRecordモード

各トラックには、以下の3つの状態に切り替わる**Record Ready**のトグル・ボタンがあります。

ボタンを右クリックすると**All Settings**画面が開き、**Project > Record**の設定ページが開きます。

Play (Record Safe)

トラック・ヘッダー上のインジケータ表示において、**緑色のドット(●)**は**Record Safeモード**の状態を示しています。トラックは録音が不可能な状態です。

Record Ready (マニュアル)


緑色のドット(●)は、クリックする毎に**Record Readyモード**と交互に切り替わります。


Record Readyモードの状態は、**赤色のドット(●)**で示されます。

このモードでトランスポートの**Master Record** () ボタンを押すと録音が始まります。

Record Punch In (オート)

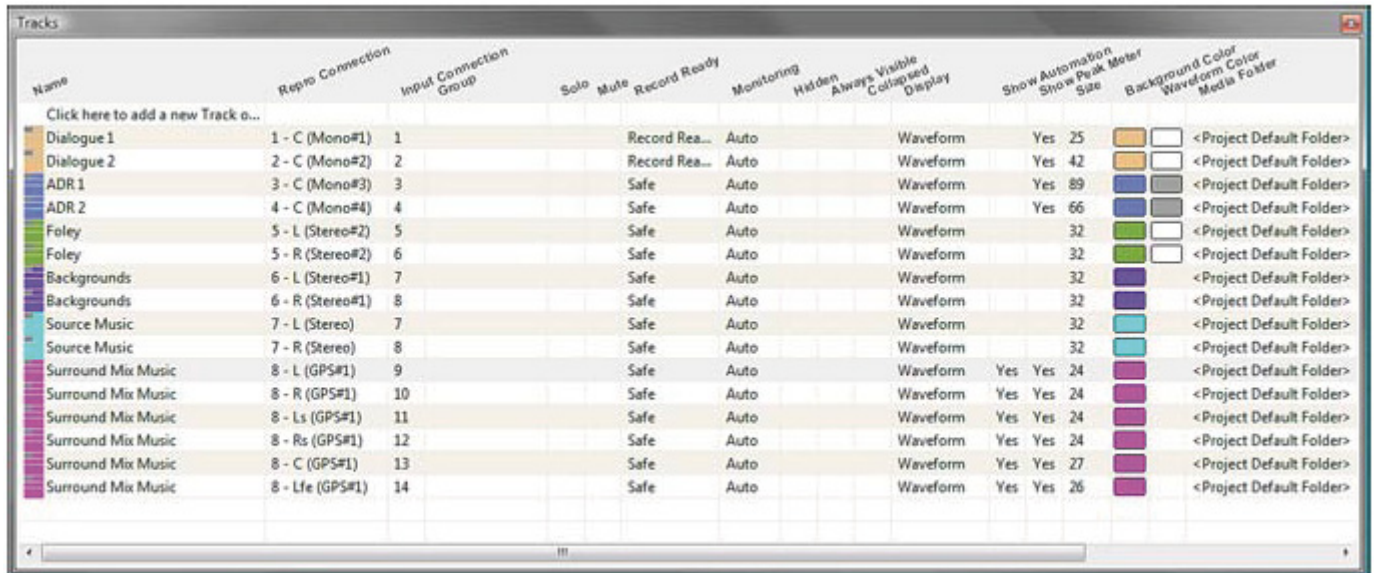
Altキーを押しながら**赤色のドット(●)**をクリックすると、**Record Punch Inモード**に切り替わります。

Record Punch Inモードの状態では、赤色のドットの両脇に縦の赤いラインが入った() で示されます。

このモードでトランスポートの**Master Record** () ボタンを押すと、任意の**Record In**ポイントまでトラックを再生し、**Record In**ポイントから録音をスタートします。録音は任意の**Record Out**ポイントに達すると終了し、それ以降はトラックを再生します。

Tracksタブ画面

Tracksタブ画面は、各トラックに関する情報をテーブルで表示し、各コラムのフィールドは情報表示と併せて設定の変更も可能となっています。新しいトラックの作成や既存トラックの削除、トラック位置の変更を行えます。また、トラックに関わるすべてのパラメーターへアクセスして変更することが可能です。



Name	Repro Connection	Input Connection Group	Solo	Mute	Record Ready	Monitoring	Hidden	Always Visible	Collapsed	Display	Show Automation	Show Peak Meter	Size	Background Color	Waveform Color	Media Folder
Click here to add a new Track o...																
Dialogue 1	1 - C (Mono#1)	1			Record Rea...	Auto				Waveform	Yes	25				<Project Default Folder>
Dialogue 2	2 - C (Mono#2)	2			Record Rea...	Auto				Waveform	Yes	42				<Project Default Folder>
ADR 1	3 - C (Mono#3)	3			Safe	Auto				Waveform	Yes	89				<Project Default Folder>
ADR 2	4 - C (Mono#4)	4			Safe	Auto				Waveform	Yes	66				<Project Default Folder>
Foley	5 - L (Stereo#2)	5			Safe	Auto				Waveform		32				<Project Default Folder>
Foley	5 - R (Stereo#2)	6			Safe	Auto				Waveform		32				<Project Default Folder>
Backgrounds	6 - L (Stereo#1)	7			Safe	Auto				Waveform		32				<Project Default Folder>
Backgrounds	6 - R (Stereo#1)	8			Safe	Auto				Waveform		32				<Project Default Folder>
Source Music	7 - L (Stereo)	7			Safe	Auto				Waveform		32				<Project Default Folder>
Source Music	7 - R (Stereo)	8			Safe	Auto				Waveform		32				<Project Default Folder>
Surround Mix Music	8 - L (GPS#1)	9			Safe	Auto				Waveform	Yes	Yes	24			<Project Default Folder>
Surround Mix Music	8 - R (GPS#1)	10			Safe	Auto				Waveform	Yes	Yes	24			<Project Default Folder>
Surround Mix Music	8 - Ls (GPS#1)	11			Safe	Auto				Waveform	Yes	Yes	24			<Project Default Folder>
Surround Mix Music	8 - Rs (GPS#1)	12			Safe	Auto				Waveform	Yes	Yes	24			<Project Default Folder>
Surround Mix Music	8 - C (GPS#1)	13			Safe	Auto				Waveform	Yes	Yes	27			<Project Default Folder>
Surround Mix Music	8 - Lfe (GPS#1)	14			Safe	Auto				Waveform	Yes	Yes	26			<Project Default Folder>

Tracks Tab floating Window

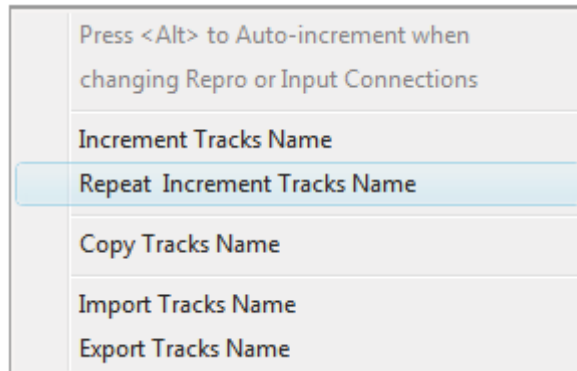
新しいトラックを作成するには、タブ画面の一番上の行をクリックして、トラック・ネームを入力しEnterします。

選択したトラックは、**Delete**キーで削除できます。

トラックの配置を変更したい場合は、選択したトラックをマウス・ドラッグで移動します。
一番左のTrackアイコンの位置でドラッグし、任意の位置へ移動してマウスを離してください。

Tracksタブのポップアップ

Tracksタブ内で右クリックすると、下記のポップアップが開きます：



Increment Tracks Name	複数トラックのトラック番号を変更できます。 選択したトラック範囲の一番先頭のトラック番号から昇順に付番します。
Repeat & Increment Tracks Name	複数トラックのトラック・ネームと番号を変更できます。 選択したトラック範囲の一番先頭のトラック・ネームをコピーし、残りのトラック名を上書きします。番号は昇順に付番されます。
Copy Tracks Name	選択しているトラックのトラック・ネームをコピーします。
Paste Tracks Name	選択した任意のトラックに、コピーしたトラック・ネームをペーストします。
Import Tracks Name	選択したトラック(選択がない場合はすべてのトラック)にテキスト・ファイルからインポートしたトラック・ネームを付けます。
Export Tracks Name	選択したトラック(選択がない場合はすべてのトラック)のトラック・ネームをテキスト・ファイルとして保存します。

複数のトラックの設定変更

複数のトラックを選択して設定を変更することができます。隣接した複数のトラックを範囲選択するには**Shift**キーを押しながら、離れているトラックを複数選択するには**Ctrl**キーを押しながら、任意のトラックをクリックしてください。

Repro / Input 接続の変更

コラム・フィールドをクリックすると、ドロップダウン・リストから任意の接続を選択できます。

複数のトラックを選択してリストからアサイン先を選ぶと、すべてのトラックに同じ接続がアサインされます。また、**Alt**キーを押しながらアサイン先を選ぶと、昇順に選択されたトラックをアサインします。

TrackタブのColumnフィールド

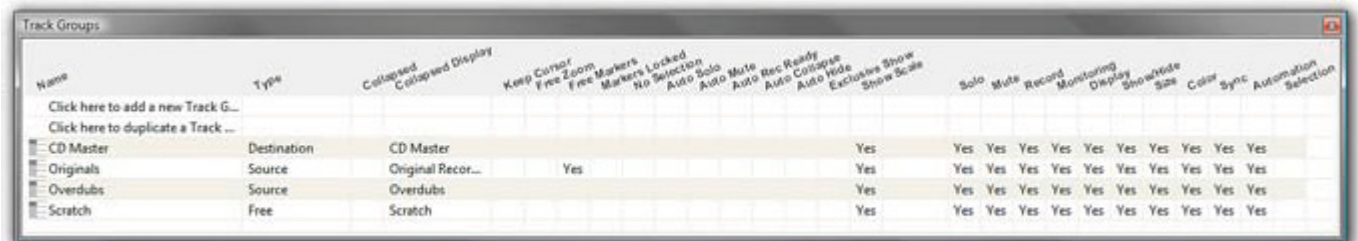
Name	トラック・ネームを示します。トラック・ネームをクリックするかF2で、新しい名前を入力できます。Column・フィールドには29文字まで表示ができます。
Repro Connection	ミキサー・ストリップへの出力アサインを示します。Column・フィールドをクリックすると、ドロップダウン・リストから任意のミキサー・ストリップ・チャンネルを選択できます。ストリップ番号の右側には()書きでストリップ名が表示されます。
Input Connection	トラックへの入力ソースを示します。Column・フィールドをクリックすると、ドロップダウン・リストから任意のフィジカル入力または内部リターン・バスを選択できます。
Group	トラックがTrackグループに属している場合、グループ名を示します。Column・フィールドをクリックすると、ドロップダウン・リストから任意のTrackグループを選択できます。
Solo	トラックのSoloがOnの時、YESが表示されます。Column・フィールドをクリックすると、On/Off(=空欄)がトグルで切り替わります。
Mute	トラックのMuteがOnの時、YESが表示されます。Column・フィールドをクリックすると、On/Off(=空欄)がトグルで切り替わります。
Record Ready	トラックのRecordモードの状態を示します。Column・フィールドをクリックすると、ドロップダウン・リストから3つのモードを選択できます。(Safe, Record Ready, Auto-Punch)
Monitoring	トラックのMonitorモードの状態を示します。Column・フィールドをクリックすると、ドロップダウン・リストから3つのモードを選択できます。(Auto, Input, Repro)
Hidden	タイムライン上でトラックを非表示にした時、YESが表示されます。
Always Visible	Always VisibleがOnの時、YESが表示されます。トラック表示を上下にスクロールしても、表示が保持されます。
Collapsed	Trackグループに属しているトラックの表示を折り畳んでコンパクトに表示している時、YESが表示されます。
Display Mode	クリップのDisplayモードの状態を示します。Column・フィールドをクリックすると、ドロップダウン・リストから3つのモードを選択できます。(Block, Waveform, Envelope)
Show Automation	トラックのオートメーション表示がOnの時、YESが表示されます。Column・フィールドをクリックすると、On/Off(=空欄)がトグルで切り替わります。
Show Peak-Meter	トラック・ヘッダーにPeakメーターが表示されている時、YESが表示されます。Column・フィールドをクリックすると、On/Off(=空欄)がトグルで切り替わります。
Size	トラック表示の高さをピクセルで示します。Column・フィールドをクリックすると、24~511の範囲で値を入力できます。
Background Color	クリップの背景色を示します。空欄になっている場合は、デフォルト色が設定されています。Column・フィールドをクリックすると、カラー・ピッカーがポップアップします。Standardを選択するとデフォルトへ戻ります。
Waveform Color	クリップの波形の色を示します。空欄になっている場合は、デフォルト色が設定されています。Column・フィールドをクリックすると、カラー・ピッカーがポップアップします。Standardを選択するとデフォルトへ戻ります。
Recording Media Folder	録音データの保存先に選択されているMediaフォルダーを示します。Column・フィールドをクリックすると、現在マウントされているMediaフォルダーがドロップダウン・リストに表示され、任意のフォルダーを選択できます。

Trackグループ

Trackグループはユーザーによって作成され、グループ化した複数のトラックに対してファンクションを効率良く適用することができます。

Track Groupsタブ画面

Track Groupsタブ画面は、各Trackグループに関する情報をテーブルで表示し、各コラムのフィールドは情報表示と併せて設定の変更も可能となっています。



Name	Type	Collapsed	Collapsed Display	Keep Center	Zoom	Free	Free	Markers Locked	No Selection	Auto Solo	Solo	Mute	Auto Rec Ready	Auto Collapse	Auto Hide	Exclusive Show	Show Scale	Solo	Mute	Record	Monitoring	Display	ShowWide	Size	Color	Sync	Automation	Selection
Click here to add a new Track G...																												
Click here to duplicate a Track ...																												
CD Master	Destination		CD Master															Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
Originals	Source		Original Recor...				Yes											Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
Overdubs	Source		Overdubs															Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
Scratch	Free		Scratch															Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes

Tracks Groups Tab floating Window

最初の行にある“Click here to add a new Track Group”は、新しいTrackグループを作成するのに使用します。2行目の“Click here to duplicate a Track Group”は、既存のTrackグループを複製するのには使用します。

新しいTrackグループを作成するには、タブ画面の一番左上にある“Click here to add a new Track Group”をクリックします。グループの名前を付けるボックスが現れるので、適当な名前を入力してエンターしてください。新しいTrackグループは、リストの一番下に追加されます。

既存のTrackグループを複製するには、任意のTrackグループを選択した状態で“Click here to duplicate a Track Group”をクリックします。グループの名前を付けるボックスが現れるので、適当な名前を入力してエンターしてください。複製されたTrackグループは、コピー元のTrackグループのすぐ下に追加されます。

リスト表示の順番を変更したい場合は、Trackグループ名の一番左に表示されているアイコンをクリックしてから、任意の位置へドラック移動してください。

タイムライン上におけるTrackグループの割り当ては、Trackグループに属する先頭トラックのトラック・ヘッダーの上に表示されます。

Trackグループに属するトラックの表示は、先頭トラックのトラック・ヘッダーの上にある + / - アイコンをクリックすることで、1つのトラックに折り畳んで表示 / 全表示と切り替えられます。

Track GroupタブのColumnフィールド

Name	Trackグループの名前を示します。トラック・ネームをクリックするかF2で、新しい名前を入力できます。コラム・フィールドには29文字まで表示ができます
Type	<p>コラム・フィールドをクリックすると、ドロップダウン・リストから3つのタイプを選択できます。(Free, Source, Auto- Destination)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Free 一般のTrackグループとしてトラックを分類します。(デフォルト値) ● Source Source/Destination編集のSourceとしてトラックを分類します。 ● Destination Source/Destination編集のDestinationとしてトラックを分類します。
Collapsed	<p>Trackグループの表示を折り畳んで、グループのトラック1つだけを表示します。Yesにすると、Collapsed Displayで選択したトラックのみをタイムライン上に表示して、グループの他のトラックは非表示になります。</p> <p>このフィールドは、トラック・ヘッダーの+ / - アイコンと同じ動作をします。</p>

Collapsed Display	コラム・フィールドをクリックすると、ドロップダウン・リストからTrackグループ属するトラックを選択できます。 Collapsed フィールドを Yes にした場合、ここで選択したトラックが表示されます。
--------------------------	--

その他のフィールド

その他のコラム・フィールドは、クリックする毎に**Yes**と空白がトグルで切り替わります。

以下の機能は、**Yes**が設定された時に適用されます。

Keep Cursor	Trackグループを選択した状態で移動したPlayカーソルの位置をキープし、(他のトラックへ選択を移動した後で)再度Trackグループを選択した際、その位置を呼び出します。
Free Zoom	設定したTrackグループのZoom操作は、他のトラックと独立して動作します。
Free Markers	Yes にすると、Trackグループの先頭トラックの上にマーカーのスペースが表示され、設定したTrackグループは独立したマーカー・リストを作成できます。
Markers Locked	Free Markers によって設定したTrackグループのマーカーをロックします。
No Selection	設定したTrackグループにおいて、マウス・クリックによるクリップの選択を不可能にし、Playカーソルの位置を移動させます。クリックを選択するには、Playカーソルをクリップ上へ移動して、 Q キーを押してください。
Auto Solo	設定したTrackグループを選択した時に、Trackグループ全体を自動的にSoloにします。
Auto Mute	設定したTrackグループがトラックの選択から外れる時に、Trackグループ全体を自動的にMuteにします。
Auto Record Ready	設定したTrackグループを選択した時に、Trackグループ全体を自動的にRecord Readyモードにします。
Auto Collapse	Trackグループがトラックの選択から外れる時に、Trackグループ全体の表示は自動的に1つのトラックに折り畳まれます。Trackグループを選択すると、Trackグループ全体が表示されます。
Auto Hide	Trackグループがトラックの選択から外れる時に、Trackグループ全体は自動的に非表示となります。Trackグループを選択すると、Trackグループ全体が表示されます。
Exclusive Show	設定したTrackグループを選択した時に、それ以外のすべてのトラックが自動的に非表示となります。トラック表示に対するSoloのような機能です。
Show Scale	Free Markers あるいは Free Zoom モードが設定されている場合、Trackグループの先頭トラックの上に独立したTimeCodeスケールを表示します。設定が OFF の場合は、Trackグループを選択した時、メインのTimeCodeスケール上の表示でマーカーとZoomを示します。
Selection	Yes にすると、タイムライン上でのセレクションをTrackグループ全体に適用します。デフォルトでは、無効になっています。

その他のコラム (**Solo, Mute, Record, Monitoring, Display, Show/Hide, Size, Color, Sync, Automation Display**) は、トラック・ヘッダーまたは Track タブ画面で設定した状態が Track グループ毎に連動します。

例: Track グループに属する1つのトラックを Solo にした場合、Track グループ全体が Solo になります。

Virtual Tracksトラック

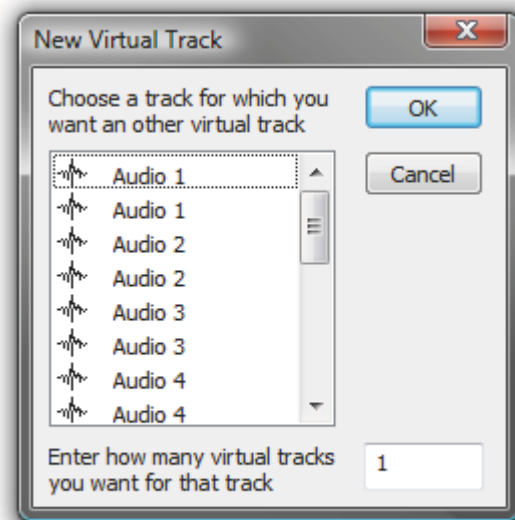
Virtualトラックは、既存のトラックの“ミラー”として機能します。

Virtualトラックは、別トラックとして編集画面上に表示されますが、既存のトラックと同じトラック出力ヘルツとされ、タイムライン上には既存のトラックと同じクリップが配置されています。

Note: 1つのトラックに対して、複数のオートメーションを個別に表示するなどの目的に利用します。

Virtualトラックの作成

タイムラインへVirtualトラックを追加するには、**Tracks > New Virtual Track**を選択します。



Create New Virtual Track dialog

上図のようなリストが表示されるので、オリジナルのトラックを選択し、トラック数を入力して**OK**をクリックします。

Note: Virtualトラックは、オートメーション・データを表示するために自動作成することもできます。詳細は、13.オートメーションの“オートメーション・データの表示と編集”の章を参照してください。